

1 趣旨

平成29年3月に策定した「比治山公園『平和の丘』基本計画」（以下「基本計画」という。）に基づき、第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期の三つの期間に分けて段階的に整備に取り組むこととしており、現在、第Ⅱ期の整備に取り組んでいる。

こうした中、令和5年1月に、放射線影響研究所（以下「放影研」という。）の広島大学霞キャンパスへの移転が決定したことから、放影研移転後の敷地等を活用した第Ⅲ期の整備に向けて、公園を回遊する魅力を更に高め、訪れる人を増やすため、令和5年度に市民等との協働によるワークショップを計4回開催し、公園内の既存施設や園路沿いの未利用地の利活用、公園内及び公園の内外の回遊性を高める取組などの検討を行った。

この回遊性向上策は、ワークショップの検討結果等を踏まえつつ、第Ⅲ期の整備に着手する令和10年代初頭までの完了を目指し、第Ⅱ期の整備を更に加速させるため、基本計画の第Ⅱ期のアクションプランとして取りまとめたものである。

なお、第Ⅲ期については、基本計画に沿って、放影研移転後の敷地を「平和・芸術文化ゾーン」として多目的エリアなどを整備することとしているが、当該敷地の整備内容については、広島市博物館基本構想の取扱いを改めて整理する必要があることや、放影研の建物に近代建築としての歴史的・文化的価値を認め、保存・活用を求める声があることなどを踏まえつつ、別途、検討することとしている。



比治山公園全景

2 取組方針

公園内の既存施設等を活用した回遊拠点の魅力向上や、各拠点をつなぐ安全で快適な回遊動線の整備などの基盤整備に取り組むとともに、これらの基盤を生かして、新たな来園者やリピーターを増やし、公園内及び公園の内外の回遊を促進するための取組の充実を図る。

取組方針1 既存施設等の魅力向上

人が集まり、とどまる魅力的な拠点をつくるため、御便殿広場やムーアの広場等の既存施設については、その利用状況等を踏まえながら魅力を更に高めるための再整備を行い、また、比治山トンネル上部の未利用地を活用して、公園の新たな魅力を創出するための整備を行う。

【主な取組】

- ・御便殿広場は、バーベキューやイベント、子どもの水遊びができる広場として、また、まんが図書館と一体となった緑陰読書ができる広場として再整備する。
- ・ムーアの広場は、現代美術館と一体となった芸術が感じられる広場として、また、居心地が良く、くつろげる広場として再整備する。
- ・比治山トンネル上部の未利用地は、自然との触れ合いの中で、子どもが自由に遊ぶことのできるプレイパークとして整備する。

取組方針2 回遊動線の機能強化

公園内を安全で快適に回遊できるよう、園内動線の整備などを行うとともに、公園への誘導性を高めるため、公園周辺部の案内サインの充実を図る。

【主な取組】

- ・自動車と歩行者の動線の分離や横断歩道の設置などを行う。
- ・案内サインやサイクルポート等を設置するとともに、園路沿いの未利用地を活用した休憩拠点の整備などを行う。
- ・比治山トンネル西側の市道（歩道）や鶴見橋東端等の河岸緑地への案内サインの設置などを行う。

取組方針3 回遊の促進

魅力的な拠点や回遊動線などの基盤を生かして、公園内を目的を持って回遊できるよう、回遊コースの設定などを行うとともに、公園の内外を一体的に回遊できるよう、パンフレット等での紹介などを行う。

【主な取組】

- ・歴史や平和、芸術、自然、健康などの特定のテーマの回遊コースを設定し、パンフレット等で紹介する。パンフレットは、回遊コースのほか、ウォークアブルなまちなかの形成に資する「ひろしま都心回廊づくり」や、広島大学旧理学部1号館、旧広島陸軍被服支廠等の被爆建物を回遊するルートの拠点の一つとして、「平和の道」・「文化の道」や「西国街道」、ピースツーリズムのおすすめルート等も合わせて紹介する。
- ・公園内の回遊コースを巡るイベントや公園の内外を回遊するイベント等を多様な主体と連携しながら開催するとともに、平和学習や自然学習、遠足等の場として回遊コースを活用してもらえよう、小中学校等に働き掛ける。
- ・庁内の関係部署と連携しながら、We bやSNS等を活用し、公園内の回遊コースや公園内及び公園の内外を回遊するイベント等の情報発信を強化する。

